

計画事業番号	00515	事務事業名	農業振興奨励事業	担当部署	経済部農政課	電話	4604
--------	-------	-------	----------	------	--------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則、北広島市農業奨励振興事業補助金交付要綱				
事務事業開始年度	昭和44年度	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第4章) 活気ある産業のまち (第1節) 農業の振興 (施策4) 生産・流通の振興
2 対象	道央農業協同組合恵庭・北広島営農センター(農業経営者及び関係機関で組織する各生産組織、酪農家等) 北広島市家畜自衛防疫組合
3 目的と内容	農業経営者等で構成する生産組織、酪農家等に対し、以下の支援を主に道央農業協同組合を通して行い、農業経営の近代化、安定化を目指し、北広島市の農業の振興を図る。 ○生産組織支援事業～各生産組織が実施する技術導入指導、研修会、先進地視察など農業技術の向上等にかかる経費への一部補助 ○預託放牧事業～健全牛育成のために南富良野町公共牧場等に預託放牧する際の経費の一部補助。 ○酪農ヘルパー事業～労働時間短縮と休日確保のための酪農ヘルパー利用に係る経費の一部補助。 ○線虫被害防止対策～緑肥用えん麦等の作付に係る経費の一部補助。 ○えぞ鹿被害対策～被害農家に対して電牧柵など防除機器購入等に係る経費の一部補助。 【前回推進計画からの変更点】 変更なし
4 実施内容(手段)	28年度まで ■道央農業協同組合を通じ、次の事業経費の一部を補助。 ○生産組織支援事業～各生産組織が実施する研修会、先進地視察など農業技術の向上に係る経費への一部補助。 ○預託放牧事業～健全牛育成のために南富良野町公共牧場等に預託放牧する際の経費の一部補助。 ○酪農ヘルパー事業～労働時間短縮と休日確保のための酪農ヘルパー利用に要する経費の一部補助。 ○線虫被害防止対策事業～緑肥用えん麦等の作付けに要する経費の一部補助。 ○えぞ鹿被害対策～被害農家に対して電牧柵など防除機器購入・くくり罠免許取得・わな購入に要する経費の一部補助。 ■北広島市家畜自衛防疫組合の家畜防疫事業経費の一部を補助。
	29年度 昨年度と同内容で実施。 ■道央農業協同組合を通じ、次の事業経費の一部を補助。 ○生産組織支援事業～各生産組織が実施する研修会、先進地視察など農業技術の向上に係る経費への一部補助。 ○預託放牧事業～健全牛育成のために南富良野町公共牧場等に預託放牧する際の経費の一部補助。 ○酪農ヘルパー事業～労働時間短縮と休日確保のための酪農ヘルパー利用に要する経費の一部補助。 ○線虫被害防止対策事業～緑肥用えん麦等の作付けに要する経費の一部補助。 ○えぞ鹿被害対策～被害農家に対して電牧柵など防除機器購入・くくり罠免許取得・わな購入に要する経費の一部補助。 ■北広島市家畜自衛防疫組合の家畜防疫事業に対する経費の一部を補助。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援	農業技術の向上や情報交換、家畜防疫事業への支援 健全牛育成のための預託放牧、酪農ヘルパーの導入への支援 野菜の線虫被害の防止、エゾシカによる被害の軽減への支援
計画額 2,620千円	実績額 2,415千円						

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	各生産組織の事業活動や畜産振興、野菜生産振興、エゾシカ被害対策等への支援によって、市内農業の振興が図られていることから現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		2,415		2,620		3,000		3,000		
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	2,415		2,620		3,000		3,000	
	① 合計	2,415		2,620		3,000		3,000		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	0	225	0	225	0	225	0	225	
総事業費①+④		2,640		2,845		3,225		3,225		

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	① 預託放牧利用戸数	目標値	4		4		4		4	
		実績値	3							
	② 線虫対策緑肥えん麦作付面積	目標値	60		60		60		60	
		実績値	41							
③ エゾシカ防除機(電牧柵)設置面積	目標値	13		13		13		13		
	実績値	13								
④ 酪農ヘルパー利用戸数	目標値	6		6		6		6		
	実績値	6								
成果指標	①	目標値								
	【指標の定義(算式等)】	実績値								
	②	目標値								
	【指標の定義(算式等)】	実績値								
③	目標値									
	【指標の定義(算式等)】	実績値								

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	農業者の高齢化・後継者不足、耕作放棄地の拡大、価格の安い輸入農産物との競合など農業を取り巻く環境は厳しく、安全・安心な国産農産物の生産を維持し食料の安定供給を確保するため、また、地域経済の振興を図るためにも必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	農業生産組織の事業活動や農業生産の振興事業、エゾシカ被害対策等の実施によって、安定した農業生産の維持に著実な成果が出ている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	現状よりも成果を向上させるのは個々の農業者の経営努力によるものであり、市の事業としての代替策はない。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市内農業の生産振興を図るための事業として必要な支援内容であり、削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
------------------------------------	---	---

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 515-1

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	農業振興奨励事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	道央農業協同組合 恵庭・北広島営農センター 営農センター長 濱崎 裕史	設立年	平成13年
構成員(団体)数	各生産組織構成員数 222名(農業生産者数)		(29年1月末現在)
交付先団体等の 活動目的	農業経営安定化のための情報の共有や各種活動による農業振興等		
交付先団体等の 活動内容	・農業技術の向上及び各農業振興事業の協同活動。		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	2,376	2,286	2,491	
	自己負担金	11,837	12,622	12,514	
	J A 補助金	4,050	3,935	4,312	
	その他	713	2,207	533	
	収 入 合 計 (B)	18,976	21,050	19,850	
支 出	事業費	13,736	14,649	16,865	
	調査研修費	134	186	155	
	会議費・事務費等	5,106	6,215	2,830	
	支 出 合 計 (C)	18,976	21,050	19,850	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合 (A)÷(C)		13 %	11 %	13 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費・調査研修費	事業費・調査研修費	事業費・調査研修費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		13,870	14,835	17,020	
対象経費に対する補助または交付金の割合 (A)÷(D)		17 %	15 %	15 %	
補助・交付金の算出根拠		事業費・調査研修費			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 515-2

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	農業振興奨励事業補助金		
交付先の名称 及び代表者名	北広島市家畜自営防疫組合	設立年	昭和60年
構成員(団体)数	家畜飼養者(酪農、養豚)16人及び市・農協・農業共済組合等関係団体 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	家畜伝染病の発生予防と家畜衛生思想の普及啓蒙を推進し、もって畜産農家の経営安定を図ることを目的とする。		
交付先団体等の 活動内容	①家畜の伝染性疾患の予防措置に関すること。 ②家畜の衛生情報の収集及び連絡に関すること。 ③家畜の飼養環境の保全及び消毒に関すること。 ④家畜伝染病の発生時における防疫措置に関すること。 ⑤研修会、講習会の開催に関すること。 ⑥その他目的達成に関すること。		
事務局の状況 (28年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	129	129	129	
	自己負担金	607	507	967	
	J A 補助金	50	50	50	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	786	686	1,146	
支 出	事業費	786	686	1,146	
	調査研修費				
	支 出 合 計 (C)	786	686	1,146	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	16 %	19 %	11 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	事業費	事業費	事業費	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	786	686	1,146	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	16 %	19 %	11 %	
	補助・交付金の算出根拠	事業費			